

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

【基本目標1】 新しい人の流れづくり

(ア) 住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速

① 移住交流の推進

番号	戦略該当箇所 (A.P.)		行期計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局						
	位置づけ	該当	位置づけ	該当		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31									
1	1-7-1	P1			■ 移住者数：850人(80人)																					
			1-2-1	P76	●移住交流の支援体制を強化するため、移住情報をタイムリーに発信する「移住ポータルサイト」の開設や移住相談やしごとの提供を一元的に行う「移住コンシェルジュ」を配置した「とくしま移住交流促進センター」を設置します。<政策>	推進	→	→	→	→		●「とくしま回帰」を加速するため、「とくしま移住交流促進センター」や「住んでみて徳島で！移住相談センター」に「移住コンシェルジュ」を配置し、移住に関するきめ細かな相談対応を行うとともに、「移住ポータルサイト」による情報発信を推進します。<政策>	推進	→	→	→	→						移住コンシェルジュについて、平成27年8月に、徳島クレメントプラザビルの「とくしま移住交流促進センター」に2名、12月に、東京の「住んでみて徳島で！移住相談センター」に1名配置した。また、新たな移住ポータルサイトを12月に開設したところ。これらの取組を本格化させ、さらに、移住交流の推進を図るため文言を改める。	政策		
					○移住者数 ⑤80人→⑩850人							850人														
2	1-7-1	P1			■ 移住希望者に対する「新たな雇用枠」の創設：H28創設(一)																					
			1-3-3	P84	●地域における仕事づくりを図るため、産業競争力の強化、観光誘客の推進及び産業人材の育成に一体的に取り組み支援を続けることで、未来につながる雇用の創出を推進します。<政策>	推進	→	→	→	→															総合戦略に掲げる今後5年間で4,000人の雇用創出に向け、県自らが率先して移住希望者に対する「新たな雇用枠」を創設し、「とくしま回帰」の流れに弾みを付けるべく取り組んでいく。	政策
													○移住希望者に対する「新たな雇用枠」の創設 ⑧創設													

③ 農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大

番号	戦略該当箇所 (A.P.)		行期計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局						
	位置づけ	該当	位置づけ	該当		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31									
3	1-7-3	P2			■ 農林水産業新規就業者数(5か年の累計)：1,150人(149人)																					
			1-2-2	P78	●インターンシップの充実等による若者のキャリアアップの機会の拡大、農業・漁業経営体の経営計画策定・技術の指導等の経営安定化への支援、主伐期に対応可能な即戦力となる林業技術者を育成するための「とくしま林業アカデミー(仮称)」の開講などに取り組み、農林水産業分野における新規就業者の確保と中核的な担い手の育成を図ります。<農林>	推進	→	→	→	→		●インターンシップの充実等による若者のキャリアアップの機会の拡大、農業・漁業経営体の経営計画策定・技術の指導等の経営安定化への支援、主伐期に対応可能な即戦力となる林業技術者を育成するための「とくしま林業アカデミー」の開講などに取り組み、農林水産業分野における新規就業者の確保と中核的な担い手の育成を図ります。<農林>	推進	→	→	→	→						「とくしま林業アカデミー」については、平成28年度に開講が決定していることから、(仮称)を削除するもの。 新規漁業就業者数については、「とくしま水産創生ビジョン(仮称)」において、平成30年度の新規就業者数の目標数を30人としていることから、これとの整合性を図るため、上方修正を検討する。	農林		
					○新規就農者数(累計) ⑤105人→⑩800人	350人	480人	580人	700人	800人																
					○新規林業就業者数(累計) ⑤15人→⑩190人	60人	90人	120人	160人	190人																
					○新規漁業就業者数(累計) ⑤29人→⑩140人	60人	80人	100人	120人	140人		○新規漁業就業者数(累計) ⑤29人→⑩160人	60人	80人	100人	130人	160人									

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

【基本目標2】 地域における仕事づくり

(ア) 地域産業の未来に向けた競争力の強化

③もうかる農林水産業の推進

番号	戦略担当箇所 (A.P.)		行期計画 該当箇所		(現 行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	改善見直しの理由及び概要	部局							
	位置づけ	該当	位置づけ	該当		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31										
7	2-7-3	P7			■ 県産米輸出数量：75トン (34トン)																						
			2-4-1	P107	<p>●本県農林水産業の持続的な発展や農山漁村の活性化に資するため、「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を肉付けする基本計画に基づき、施策を推進します。</p> <p>また、持続可能な水田農業を推進するために、地域の実情に応じた米づくりや海外を視野に向けた取組みなど、新たなコメ戦略を進めます。<農林></p>	推進	→	→	→	→		<p>●本県農林水産業の持続的な発展や農山漁村の活性化に資するため、「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を肉付けする基本計画に基づき、施策を推進するとともに、「徳島県TPP対応基本戦略」に基づき、「高いブランド力」などの「強み」を活かした「攻め」の対策と小規模経営体・産地の維持に向けた「守り」の対策に重点的に取り組み、TPPを迎え整えます。</p> <p>また、持続可能な水田農業を推進するために、地域の実情に応じた米づくりや海外を視野に向けた取組みなど、新たなコメ戦略を進めます。<農林></p>	推進	→	→	→	→		<p>全議員勉強会における御提案を踏まえ、「TPP対応」をより明確化し行動計画に位置付けるため、取組内容の拡充を検討する。</p> <p>また、産出額の向上には、飼料用米の推進による米価下落防止が重要であることから、飼料用米の推進に向け、目標数値の上方修正を検討する。</p>	農林							
					○県産米輸出数量 ⑤34トン→⑩75トン	42トン	50トン	59トン	68トン	75トン																	
8	2-7-3	P8			■ 「阿波尾鶏」出荷羽数：300万羽 (195万羽)																						
9	2-7-3	P8			■ 「阿波とん豚」出荷頭数：1,500頭 (61頭)																						
10	2-7-3	P8			■ 水産物出荷・流通体制施設等の整備：11施設 (5施設)																						
			2-4-3	P110	<p>●畜水産物の生産の効率化や規模拡大を図るとともに、畜産ブランド産地の確立、加工品開発による高付加価値化を推進します。</p> <p>また、すだち・なると金時など本県を代表する品目について、個別課題解決戦略によるレベルアップ等を図り、「日本のトップブランド」実現に向けた取組みを推進します。</p> <p><農林></p>	推進	→	→	→	→		<p>●畜水産物の生産の効率化や規模拡大を図るとともに、グローバル化に向けた「攻めの畜産」を展開するため、一歩先行くプレミアム化や経営転換の推進、「阿波尾鶏」をはじめとする畜産ブランドの加工品開発など、競争力強化を推進します。</p> <p>また、すだち・なると金時など本県を代表する品目について、個別課題解決戦略によるレベルアップ等を図り、「日本のトップブランド」実現に向けた取組みを推進します。</p> <p><農林></p>	推進	→	→	→	→		<p>TPP交渉の大筋合意を踏まえ、畜産物への影響が大きいと考えられること、また、27年度の評価戦略会議において、畜産物の出荷量についてC評価をいただいたことから、畜産物のブランド化・競争力強化に向けた取組の強化を検討する。</p> <p>また、阿波牛出荷頭数について、27年度までの実績が良好であるため、目標値の上方修正を検討する。</p>	農林							
					○「阿波尾鶏」出荷羽数 ⑤195万羽→⑩300万羽	230万羽	250万羽	280万羽	300万羽	300万羽																	
					○「阿波とん豚」出荷頭数 ⑤61頭→⑩1,500頭	300頭	600頭	900頭	1,200頭	1,500頭																	
					○水産物出荷・流通体制施設等の整備 (累計) ⑤5施設→⑩11施設	7施設	8施設	9施設	10施設	11施設																	

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

(イ) 戦略的な観光誘客の推進

① 「訪日外国人2000万人時代」に向けた取組み

番号	戦略担当箇所 (A.P)		行動計画 担当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局						
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31									
15	2-1-1	P10			■ 年間の延べ宿泊者数：310万人 (226万人)																					
			7-2-1 (7-2-2)	P205	●「おどる宝島!パスポート」をはじめとする誘客コンテンツの整備、効果的な魅力発信や旅行商品の造成促進等による「観光目的客の取り込み」、コンベンション誘致促進による「ビジネス目的客の取り込み」、「東京オリンピック・パラリンピック」等を見据えた「『訪日外国人2000万人時代』に向けた取組み」を核とする「徳島県観光振興基本計画(第2期)」に基づく戦略的な取組みを推進することにより、観光誘客を促進します。<商工>	推進	→	→	→	→		●「おどる宝島!パスポート」をはじめとする誘客コンテンツの整備、効果的な魅力発信や旅行商品の造成促進等による「観光目的客の取り込み」、コンベンション誘致促進による「ビジネス目的客の取り込み」、「東京オリンピック・パラリンピック」等を見据えた「『訪日外国人2000万人時代』に向けた取組み」を核とする「徳島県観光振興基本計画(第2期)」に基づく戦略的な取組みを推進することにより、観光関連事業者との連携など、官民を挙げた観光誘客を促進します。<商工>												「交通事業者とともに誘客事業を行うことを表記したらどうか(新未来創造部会)」との提言を踏まえ、所要の修正を行うこととした。	商工	
					○年間の延べ宿泊者数 ⑤226万人→①310万人	260万人	270万人	285万人	300万人	310万人																
16	2-1-1	P10			■ 県内への外国人延べ宿泊者数：9万人 (32,310人)																					
			7-1-2	P203	●東アジア・東南アジアを重点エリアとし、海外と徳島阿波おどり空港間のチャーター便の誘致をはじめ、関西広域連合・瀬戸内ブランド推進連合・四国ツーリズム創造機構等と連携した広域観光の推進、徳島の魅力を活かした団体旅行及び個人旅行、教育旅行、医療観光など多様な外国人観光誘客を推進します。<商工>	推進	→	→	→	→		●重点エリアである東アジア・東南アジアに加えて、欧米も誘客の対象とし、海外と徳島阿波おどり空港間のチャーター便の誘致をはじめ、関西広域連合・瀬戸内ブランド推進連合・四国ツーリズム創造機構等と連携した広域観光の推進、徳島の魅力を活かした団体旅行及び個人旅行、教育旅行、医療観光など多様な外国人観光誘客を推進します。<商工>	推進	→	→	→	→								H27.9月のミラノ万博出展における成果や、県政運営評価戦略会議の委員からいただいた「ヨーロッパ圏なども視野に入れてはどうか」とのご意見を踏まえ、欧米も対象エリアに加える。	商工
					○県内への外国人延べ宿泊者数 ⑤32,310人→①90,000人	5万人	6万人	7万人	8万人	9万人																

② 「ひと」が集う大規模イベントの拡大

番号	戦略担当箇所 (A.P)		行動計画 担当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局					
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31								
17	2-1-2	P11			■ 「スマート回廊」年間体験者数：延べ8,000人 (-)																				
			1-1-1 (2-3-1)	P72								●地域の資源を活用し、先端技術・科学による賑わいを生み出すため、川口ダム自然エネルギーミュージアムとその周辺施設による「スマート回廊」を創設し、自然エネルギーの利用、デジタルアート、コミュニケーションロボット、日本科学未来館監修の科学展、ドローンの活用等の体験を、地域と共に展開します。<企業>	推進	二	二	二								科学やアートの魅力により、交流人口の拡大を図るため、地域と一体となった推進体制を構築し、先端のデジタル・ロボットテクノロジーの体験や、日本科学未来館の監修による科学を伝える取組等を展開する「スマート回廊地域創造事業」を実施する。	企業
					○「スマート回廊」年間延べ体験者数 ⑤→③08,000人												7,000人	7,000人	8,000人	8,000人					

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

【基本目標3】 結婚・出産・子育ての環境づくり

(ア) ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化

①若い世代の結婚の希望をかかなえる

番号	戦略該当箇所 (A.P.)		行動計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	改善見直しの理由及び概要	部局									
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31												
22	3-ア-1	P13			「とくしま結婚支援センター（仮称）」が管理する ■ 男女の出逢いの場等への参加者数（年間）：2,000人（一）																								
			1-4-1	P87	●若者の出逢いの機会を増やし結婚を支援するため、県内企業・団体間の婚活支援ネットワークの拡大を図るとともに、「きらめき縁結び応援団※」と連携し、地域の特色を生かした魅力ある婚活イベントを実施します。 <県民>	推進	→	→	→			●結婚したい独身者の希望を叶えるため、「とくしま結婚支援センター（仮称）」を設置し、ICTや縁結びボランティアを活用した、よりきめ細やかな結婚支援を実施します。<県民>	推進	＝	＝	＝													
					○男女の出逢いの場等への参加者数 ⑤6,858人→⑦～⑩年間7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人		○「とくしま結婚支援センター（仮称）」が管理する男女の出逢いの場等への参加者数 ⑤二→⑩年間2,000人	500人	1,000人	1,500人	2,000人												結婚支援の抜本的な強化を図るため、既存事業を見直し、よりきめ細やかな結婚支援を実施することとしたため、数値目標等についても新たに設定することとした。	県民
												○男女の出逢いの場等におけるカップル成立数 ⑤一→⑩200組	50組	100組	150組	200組													
					○婚活支援応援企業・団体登録数 ⑤一→⑩230社	115社	145社	175社	200社	230社																			

②出産・子育てを応援する

番号	戦略該当箇所 (A.P.)		行動計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略 のみ	改善見直しの理由及び概要	部局									
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31												
23	3-ア-2	P13			第3子以降及びひとり親家庭等の児童を対象とした ■ 放課後児童クラブ「利用料無料化制度」の創設：H28創設																								
			1-4-3	P88								●保育所から小学校への「切れ目のない支援」により、「小1の壁」を打破するため、第3子以降及びひとり親家庭等の児童を対象とした放課後児童クラブ利用料無料化制度を創設します。 <県民>	創設	推進	＝	＝											平成28年度から、第3子以降及びひとり親家庭等の児童を対象とした放課後児童クラブ利用料無料化制度を創設することとしたため。	県民	
												○第3子以降及びひとり親家庭等の児童を対象とした放課後児童クラブ「利用料無料化制度」の創設 ⑩創設																	

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

②子育てしやすい職場環境づくり

番号	戦略該当箇所 (A/P)		行路計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31				
27	3-ウ-2	P16			■ 「はぐくみ支援企業」 認証事業所数：270事業所 (177事業所)																
			1-4-6	P91	<p>●テレワークなどの多様な働き方の拡大を図り、働きやすい職場環境づくりを推進するため、仕事と子育て等の両立支援に積極的な企業等を「はぐくみ支援企業」として認証し、企業等における次世代育成の取組みを促進するとともに、仕事と育児の両立を支援するため、e-ラーニング等を活用してテレワーカーを育成する「子育て女性等の新たな働き方」支援制度を創設します。＜商工＞</p>	推進	→	→	→	→	<p>●テレワークなどの多様な働き方の拡大を図り、働きやすい職場環境づくりを推進するため、仕事と子育て等の両立支援や女性の管理職登用に積極的な企業等を「はぐくみ支援企業」として認証し、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進や次世代育成の取組みを促進するとともに、仕事と育児の両立を支援するため、e-ラーニング等を活用してテレワーカーを育成する「子育て女性等の新たな働き方」支援制度を創設します。＜商工＞</p>	推進	→	→	→	→	<p>「働きやすい職場づくりのため、労働相談等を実施しているが、ワーク・ライフ・バランスを見据えた就労環境の整備には課題もある（県政運営評価戦略会議）」との意見をいただいております。はぐくみ支援企業認証制度の見直しや、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図るため文言修正した。</p>	商工			
					○ 「はぐくみ支援企業」 認証事業所数 ②5 177 事業所→③270 事業所	215 事業所	230 事業所	245 事業所	260 事業所	270 事業所											

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

②元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現

番号	戦略担当箇所 (A.P.)		行動計画 担当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置づけ	該当	位置づけ	該当		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31					
31	4-4-2	P19			<ul style="list-style-type: none"> 「シルバー人材センター」の派遣従事者の割合：11% (5.1%) 																	
			5-1-1	P162	<ul style="list-style-type: none"> 働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、地域社会の活性化を図ります。<商工> 	順次拡大	→	→	→	→		<ul style="list-style-type: none"> 働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、<u>シルバー人材センターを活用し、アクティビティの多様な働き方の支援と周知・広報に努めることにより、地域社会の活性化を図ります。<商工></u> 	順次拡大	→	→	→	→		県政運営評価戦略会議においてC評価となり、更に「シルバー人材センターを知らない県民も多くいると思うので、広報になお一層力を入れて欲しい(県政運営評価戦略会議)」との提言を受けたため、シルバー人材センターに関し、請負型就労のみでなく、派遣型就労も可能であること等を広報することとし、文言の修正を行った。	商工		
					<ul style="list-style-type: none"> 「シルバー人材センター」の派遣従事者の割合 ⑤5.1%→⑩11% 	7%	8%	9%	10%	11%												

③若者の自己実現を応援

番号	戦略担当箇所 (A.P.)		行動計画 担当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局				
	位置づけ	該当	位置づけ	該当		H27	H28	H29	H30	H31			H27	H28	H29	H30	H31							
32	4-4-3	P20			<ul style="list-style-type: none"> 「とくしま若者未来夢づくりセンター事業」への参加者数 (5か年の累計)：550人 (-) 																			
			6-5-1	P199	<ul style="list-style-type: none"> 徳島の未来を担う若者が、「課題解決先進県・徳島」をフィールドとした地域の様々な取組を学び考える「対話の場」を創設します。<県民> 	創設 (30人)	推進 (30人)	→ (30人)	→ (30人)	→ (30人)		<ul style="list-style-type: none"> 「若者に身近な課題」をテーマに、「カフェ」などリラックスした場所で、若者が会社員やNPO職員など、「世代や立場の異なる多様な参加者」と未来志向で対話することによって、課題解決のための新しい視点やアイデアを創出するとともに、地方創生の若手リーダーを育成します。<県民> 	創設	推進	→	→	→		現行の計画では、徳島に誇りを持って地域の様々な取組を学び考えることによる自立した大人としての若者の育成が主たる目的だったが、さらに、課題解決のための新しい視点やアイデアの創出及び地方創生の若手リーダー育成についても目的として追加した。これによって、毎回固定メンバーに参加してもらう方法から、テーマごとに新たな参加者を募集する方法へと改善し、新しく参加人数の目標を設定した。	県民				
												<ul style="list-style-type: none"> 「とくしま若者未来夢づくりセンター」参加者数 ⑤→⑩130人 	(90人)	100人	110人	120人	130人							

【アクションプラン編】における修正箇所一覧

(ウ) 時代に合ったふるさとづくりの加速

①多世代交流・多機能型拠点の形成

番号	戦略的当箇所 (A.P)		行動計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標					工程 (年度別事業計画)	総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局				
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31		H27	H28	H29	H30	H31								
33	4-ウ-1	P23			■ 「ワンストップ型福祉拠点」整備箇所数 (累計) : 県下全6圏域 (H30完了) (一)																			
			1-1-3	P73	●県内各圏域において、地域の絆を取り戻すため、高齢者から若者や子供までの交流の推進や障がい者や外国人など全ての人々に対する生活・福祉サービスを展開できるユニバーサルカフェ (多世代交流・多機能型) 「ワンストップ型福祉拠点」を整備し、地方創生に向け持続可能な地域づくりを推進します。<保健>	推進	→	→	→	→		県内各圏域において、地域の絆を取り戻すため、高齢者から若者や子供までの交流の推進や障がい者や外国人など全ての人々に対する生活・福祉サービスを展開するとともに「CCRC」にもつながるユニバーサルカフェ (多世代交流・多機能型) 「ワンストップ型福祉拠点」を整備し、「一億総活躍社会の実現」を目指す地方創生に向け持続可能な地域づくりを推進します。<保健>	推進	→	→	→	→		一億総活躍社会の実現に向け、今後、県内において、これまで以上にユニバーサルカフェの整備を推進する必要があるため、「ユニバーサルカフェ (多世代交流・多機能型) 「ワンストップ型福祉拠点」の整備箇所数」について、上方修正する。		保健			
					○ユニバーサルカフェ (多世代交流・多機能型) 「ワンストップ型福祉拠点」の整備箇所数 (累計) ⑮→⑳6箇所 (全6圏域)		2箇所	4箇所	6箇所			○ユニバーサルカフェ (多世代交流・多機能型) 「ワンストップ型福祉拠点」の整備箇所数 (累計) ⑮→⑳7箇所 (全6圏域)		2箇所	5箇所	7箇所								

④誇りと愛着を育むふるさとづくり

番号	戦略的当箇所 (A.P)		行動計画 該当箇所		(現行) 主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)					総合戦略のみ	(改善見直し案) 主要施策・主要事業の概要・数値目標					工程 (年度別事業計画)	総合戦略のみ	改善見直しの理由及び概要	部局				
	位置づけ	該当項	位置づけ	該当項		H27	H28	H29	H30	H31		H27	H28	H29	H30	H31								
34	4-ウ-4	P24			■ ふるさと納税寄附件数 : 1,200件 (212件)																			
			5-5-3	P183	●徳島ファンの輪を広げるため、「ふるさと納税制度」を通じて、県内外に「ふるさと徳島」の魅力をより積極的にアピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化し、活力と魅力あふれる徳島づくりを進めます。<政策>	推進	→	→	→	→														
					○ふるさと納税寄附件数 ⑮212件→⑳1,200件		330件	370件	410件	450件	500件		○ふるさと納税寄附件数 ⑮212件→⑳1,200件		330件	1,050件	1,100件	1,150件	1,200件			A評価ではあるが、27年度においては、さらなる「徳島ファン」の拡大を図るため、寄附メニューをわかりやすく整理するとともに、「パンフレットの制作」や「新たな支払い方法の導入」による利便性の向上等、各種施策を展開した結果、寄附数の大幅な増加が図られる見込みとなったため、目標を上方修正する。		政策

